

関係人口登録システムのイメージ

地域と地域外を『つなぐ(ごちゃ混ぜ化する)』、関係人口マッチングプラットフォームを構築

県内地域

地域課題は山積み。けど、高齢化等で地域づくりの担い手が不足。
⇒ 誰かに関わってほしい！



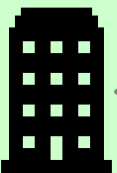
地域住民



地域団体



仲介役



市町

来訪する関係人口の情報を把握し、今後の市町の施策に活用したい

県

- 人手・ノウハウを求める「地域側」
- 人との関わりや活躍の場を求める「関係人口側」
- ⇒両者をつなぐ「関係人口プラットフォーム」を構築

運用開始前
～順次

プログラムを
企画・掲載

プラット
フォーム
を通じて
マッチング

運用開始後

システム登録・
プログラムに応募

地域外(関係人口)

都市部では、人との関わりが希薄。
⇒ 人と関わり、地域の役に立ちたい！
自分のスキルを活かしたい！



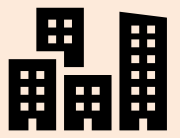
個人



団体



大学



企業

※団体・大学・企業単位の参加でも、参加者一人一人にシステム登録を促す

市町にデータ提供

実装機能(想定)

関係人口(全体)向け

参加の回数・頻度によるランク付け機能

地域イベント情報等の発信

多様な検索区分(市町別・プロジェクト類型別など)

etc

関係人口(避難者)向け

避難者の属性把握(避難者かどうかなど)

被災前居住地との関係維持に向けた交流イベント情報等の発信

etc

イベント参加型、地域課題解決型など、「地域との関わり方」で検索